

うございます!

祝いの声～

修了生メッセージ

このたび修了された166名の中から4名の方に、喜びのメッセージをお寄せいただきました。

学ぶ喜び、知る感動

保浦 高志さん (2008年度入会)

名 古屋の片田舎から新幹線通学を始め、はや3年が過ぎました。「大学でもう一度勉強したい」という衝動が芽生え始めたのは、退職が半年後に迫った秋頃でした。退職後の安定した再就職のありがたいお話を断り、遠距離の大学通学を選択することは、とても勇気の要る大きな決断でした。

しかし、4月から始まった授業は先生方の学問の深さに心酔し、新しい発見の連続でした。学ぶことがこれほどまでに楽しいことかと改めて知りました。今回、修了単位は取得したものの、自分の健康が続く限り、「学ぶ楽しさ」を求め続けていくつもりでいます。

修了論文を書き上げて

山口 昭弘さん (1992年度入会)

受 講歴19年目の私は、修了論文を提出することとなり、1年がかりでやっと完成することができました。長らくご指導いただいたEleanor Kelly先生、Patricia Yoshida先生、楠本重行先生にご相談し、論文のテーマを「英西仏の歴史的文法的特性」といたしました。そして1月に口頭試問があり、西仏をご承諾後、英に訂正を加え、とうとう完成となりました。Kelly先生、Patricia先生はまるで天使のように優しく、親身になってずっと指導を続けてくださいました。心から感謝申し上げます。また岩井方男前所長とこれまで支えていただいた皆様にも厚く御礼申し上げます。

早稲田がますます発展し、輝かしいものへととなりますよう願います。フレフレワセダ!



「これからも魅力的な講座を企画してまいります」
八丁堀校スタッフ一同

オープンカレッジ修了制度

オープンカレッジの各講座には大学とは別に独自の単位が設定されています。76単位(※)を取得すると「修了生」となり、「オープンカレッジ修了証書」が授与されます。修了生は以降の会員更新料が不要となり、また、希望される方を当センター所長が本学の「推薦校友」に推薦いたします。

※60単位以上を取得している場合、修了論文を作成することで16単位を取得し、修了生となることもできます。

講師よりメッセージ

早稲田大学教授 内藤 明

●2010年度ご担当講座
「万葉集全講」



今年度修了なさった皆さん、おめでとうございます。日々のご努力とご研鑽の成果と思います。心よりお祝い申し上げます。私は20年近く講座を担当していますが、継続して受講されている方も多く、皆さんの熱意と人生経験から多くの刺激を受けてきました。教えることは学ぶことでもあります。修了は一つの区切りですが、学問に卒業はありません。知的好奇心を燃やし続けて、また学んでいきましょう。皆さんがますます豊かで健やかな人生を送られることをお祈りします。

早稲田大学名誉教授 村田 安穂

●2010年度ご担当講座

「江戸・東京の歴史散歩—都市公園の誕生—」
「江戸・東京の歴史散歩—名所江戸百景を訪ねて—」



修了おめでとうございます。私の担当講座の中にも、今回修了された方が多くいらっしゃるということで、嬉しい限りです。講義は、温故知新の視点から変貌の激しい江戸・東京を訪ね、往時の名残や情緒を探る歴史散歩でした。各講師による専門分野からの事前学習に特色があります。見学の際、皆さんの眼はいきいきとして景観の変遷に驚き、史跡・文化財を熱心に学習されました。修了生の皆さんそれぞれに学びの目的や形、そこからくる発見があると思います。どうぞこれからも、精力的に学びを継続ください。

センター所長よりメッセージ

エクステンションセンター所長

加藤 哲夫



修了、おめでとうございます。心よりうれしく思います。毎年多くの会員の皆さんが76単位を取得して修了式を迎えられるのを拝見し、学ぶことを通じて得た喜びが、皆さんにとって何にも代えがたい財産になっているように思っています。会員のお一人お一人が、さらに着実に学ぶステップを進めていくことができるように、私たちエクステンションセンターはこれからも積極的に応援いたします。受講生の皆さんのますますのご活躍を祈ります。

修了、おめでとう

～喜びの声、お

以前に修了された方よりメッセージ

すでに修了され、現在もオープンカレッジで学び続けている方が数多くいらっしゃいます。2名の方からお祝いのメッセージをお寄せいただきました。

未知とのめぐりあいの場

久間 重治さん（2005年度入会、2010年度修了）

世界を周遊すること5年、ガン手術より5年、70歳よりエクステンションセンターへ生きる楽しさを覚えながら5年間で修了証書をいただきました。大いなる昭和の史潮を故木村時夫先生よりご教示いただき、現代の変化ある政局の裏表を野上忠興先生より解析いただくことで、明日へつながる時流を学びました。早稲田の杜には学深き先生方、楽しい同窓の仲間、日々の学び合い、未知との巡り会いの場があります。当年77歳、修了して2年が経ちますが、終生の宿望の郷で知の研鑽を積む幸せを日々感じます。修了は一つの区切りですが、ここからの出会いや学びの広がりをご一緒に楽しみましょう。

知を愛することを学び続けたい

細田 英子さん（1993年度入会、2003年度修了）

の伝統と自由闊達な気風ある早大エクステンションセンターの受講生となり18年目となります。始めは好奇心からでいずれも新鮮な驚きでした。知を愛する内的学び「やさしい哲学のすすめ」を初回から拝聴し、その広さと深さに魅了されました。総長であられた故小山宙丸先生の講座を受講できたのはかけがえのない経験であり、良き友との交流の場でもありました。今は天に召された先生のご遺徳を偲びいつまでも知を愛することを学び続けてまいりたいと願い、また春の新学期が待たれるこのごろです。修了生の皆さまも、これからも多くの「心の糧」となる講座に巡り会えますよう、お祈りいたします。

新たな表彰制度

NEWS! 「オープンカレッジ紺碧賞」のお知らせ

当センターでは76単位を取得し修了された後も、継続してオープンカレッジを学習いただいている方々に深い敬意と感謝の念を表します。当センターによる公開講座が開始されてから30周年を迎えるにあたり、150単位以上を取得された方々を対象とし、継続的な学習を応援する表彰制度「オープンカレッジ紺碧賞」を新たに設けることとなりました。

来たる9月24日(土)に行われるエクステンションセンター創立30周年・八丁堀校開設10周年記念式典にて、その表彰式を予定しております。記念式典については、裏面をご覧ください。

学ぶ楽しさ

—修了をさらなる学びの出発点として—

松井 奈保子さん（2004年度入会）

額の中の1枚の桃の絵、おいしそうで私が描いたとは思えません。私は絵を描くのが苦手です。そんな私が、描く喜びに出会えたのは奇跡です。「出口保夫先生と行く英国の旅」に参加したのが始まりです。以来、出口先生の英詩や、英国文化の講座、齊藤貴子先生の英国美術を読み解く講座などを楽しみました。そんな折、先生のご本の挿絵に魅せられました。息子さんの絵でした。その出口雄大先生の講座を無謀にも受講したのです。四苦八苦する私を雄大先生は、大胆で良いなどと励ましてくださいました。文学の世界しか知らなかった私に、絵の世界が開けたのです。エクステンションセンターに通ったお陰と感謝しております。修了とはいつでも、学びは始まったばかりです。これからも自分のペースで学んでいこうと思っております。

スペインを知ることのできた 学びの広がり

野首 美美子さん（1993年度入会）

1993年4月からオープンカレッジで受講を始め、家庭事情で10年間以上のお休みも挟みましたが、現在まで受講を続けることができました。8年間も「スペインを知る」を継続できたのは森本栄晴先生の熱意溢れる授業のお陰です。現代のスペイン事情、文化、歴史、人種、宗教、気候、地形等々飽きませんでした。また、以前開催されていた海外プログラムを通じて、メキシコを征服したエルナン・コルテスが学んだサラマンカ大学で1カ月の授業を受ける機会にも恵まれ幸せでした。亡夫（もオープンカレッジで漢詩を学んでいました）を始めクラスの友人たち、私を支えてくださったすべての人々に感謝します。今後まだ勉強したい授業もあり、続けていく予定です。



「紺碧賞を目指して学びをご継続ください」

早稲田校スタッフ一同